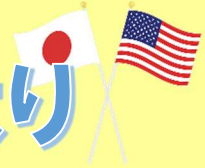




ニューヨーク補習校だより



令和8年（2026年）5月30日 第4号 校長 河村 武磨

国語(日本語)の力をつける学習！

ニューヨーク補習授業校の授業時数で、最も多い教科は国語です。国語の力を高めるため、先生方は日々の授業を工夫しています。今回はそんな中から5年生の授業風景を紹介します。

インタビューをして、その内容をまとめて報告する学習です。学習の流れは、①インタビューする順番を決め話題を考える、②インタビューのためのメモを用意する、③インタビューをして、メモを取り整理する、④インタビューの内容を報告する、です。

インタビューを受けるのは私です。3つのグループを回りながらいろいろな角度からインタビューを受けました。「なぜ先生になったのですか？」「海外に来ようと思ったのはなぜですか？」「補習授業校にきたのはどうしてですか？」あらかじめ準備していた質問を丁寧な言葉づかいで聞いてくるので、本物の記者の取材を受けているようでした。準備した質問だけでなく、私の答えを受けてアドリブで追加の質問をしてくれる子もいて、そのレベルの高さに感心しました。一人がインタビューしているとき、他の子たちは要点をメモしていました。聞き取ったことを素早くメモすることはとても難しいことですが要点をしっかりとメモできていました。

この学習では、一つのグループのインタビューが終わった後、インタビューのよかったところを発表したり、終わったグループからこれから行うグループへのアドバイスを言ったりしていました。聞く力・話す力（音声言語力）をつけるために大切なことは、モニタリング、フィードバック、再試行やってみることです。先生の指導により、子どもたち同士で、このフィードバックが行われていることは素晴らしいと思います。

さらによい所は、聞く・話す活動に、書く活動をしっかりと位置付けていることです。音声言語の学習の難しさは、その即時性、一時性にあります。消えてなくなる音声を、文字として残していく。この大切な言語活動を同時にこなしていた5年生の学習は、日本の学校でもなかなか見られない、国語の学習としてとても良いものでした。補習校の子どもたちの頑張り先生方の頑張りを見せてもらいとてもうれしくなりました。

